



長野県立こども病院だより

No.19
平成23年7月15日発行



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担う子ども達のために、質が高く、安全な医療を行います。



総合診療科の改編に関して

病院長 原田 順和

病院長の原田です。本年6月13日より、従来の総合診療科を発展的に改編し、専門診療科である血液腫瘍免疫科と総合小児科に分割し、それぞれ塩原正明先生と樋口 司先生に担当していただくこととしました。

総合診療科は、平成17年より総合診療部として発足しましたが、専門診療としての血液腫瘍免疫に関する治療にあわせ、救急診療その他をすべてカバーすることになり、人的な手当てが困難となっておりました。そこで、塩原、樋口の両先生においでいただくこととし、従来の総合診療科を新しく血液腫瘍免疫科と総合小児科に分けて開設した次第です。血液腫瘍の治療に関しましては、前任者の石井栄三郎先生が脈々と積み上げてきた偉大な実績を継承していくことになります。

これらの措置により、長野県全地域からのさまざまな要請に対して、円滑に対応できるようになると考えております。どうか新たな診療科の発展にご支援、ご鞭撻のほどをよろしく申し上げます。

contents

総合診療科の改編に関して	1
総合小児科	2
血液腫瘍免疫科	2
Vbeam 紹介	3
外来医師担当表	4

総合小児科

総合小児科 部長 樋口 司

平成 23 年 6 月 13 日に従来の総合診療部から血液腫瘍免疫科と総合小児科という2つの科に発展的に改組して誕生しました。

総合小児科では従来の総合診療部が担っていたいくつかの役割を担当しています。一つは総合診療として現在長野県立こども病院にある内科系専門診療科(血液腫瘍免疫、集中治療、循環器、神経、新生児)以外の疾患(例えば感染症など)の診療を担当することです。一般病院から専門診療科以外の病態で相談があった時の窓口そして主担当科になることで種々の病態の患者さんに対応でき、また地域の病院との「連携」を密にしていくことで地域医療にもこれまで以上に貢献できると考えています。さらにこれには小児救急における二次病院的な役割も含まれてきますので、夜間・休日に当院救急外来から入院になった患者さん(主として急性疾患)の主治医も担当していきます。

次に染色体異常など多系統に疾患を持つために主担当科がわかりにくい患児の主治医になり、各専門科間の「連携」を調整していく役割も重要と考え

ています。こうした患者さんは、社会生活を送る上で大きな問題を抱えていることが少なくありません。総合小児科がイニシアチブをとって専門診療科と連携してこうした患者さんやご家族の支援をする必要があると思います。また本院の専門診療科(特に外科系)がかかりつけの患者さんが本来の疾患以外の病気になった時にも、その主科と連携しながら診療を行っていきます。

三番目には集中治療科等で集中治療から脱した患者さんの退院までのサポートという役目があります。集中治療が必要な患者さんが必要な治療が受けられるように後方支援的な役割だけでなく、そうした患者さんが元の生活に戻って行かれるようお手伝いをしていきます。この点についても当該他科との緊密な「連携」が必要になります。

以上挙げた以外にも病院内外から期待されている役割は多いと思いますが、「連携」を合い言葉に全力を尽くしていきたいと思っています。どの専門診療科に紹介したら良いかわからない患者さんの紹介は当総合小児科宛でお願い致します。

血液腫瘍免疫科

血液腫瘍免疫科 部長 塩原 正明

6月に血液腫瘍免疫科を担当させていただくことになりました。現在は総合小児科と共同で診療を行っていて、スタッフ7名、研修医2名です。開院以来、県内からご紹介いただいた多くの患者さんを診療してきた伝統を大切にしつつ、総合診療科から発展的に改組された本診療科を運営していく所存です。

白血病やリンパ腫をはじめ、脳腫瘍、神経芽腫、横紋筋肉腫、Ewing肉腫などの固形腫瘍の診療が中心です。またSLEや若年性特発性関節炎、皮膚

筋炎などの自己免疫疾患の診療も行っています。長野県内各地からご紹介いただく患者様やご親族は、苦痛や病気に対する大きな不安を携えて本院を受診されることと思います。そのようなひとりひとりに丁寧で、かつできる限りエビデンスに基づいた診療を心掛けることが使命と考えています。また病気や治療からくる吐き気、痛み、不安などに的確に対処できるように最新の情報を取り入れつつ患者さんと向き合っていきたいと思っています。しばらく実施しなかった造血細胞移植は、再開する方向で準備を

進めています。手術や生検を行うケースでは、術前に外科、放射線科、麻酔科、病理とともにケースカンファランスを行うなど他の診療科との連携も大切にしています。

小児がん経験者に対しては、内分泌専門医と共同のフォローアップ体制のもと、早めの晩期障害に対する対応に心がけ、患者さんのQOL向上に努めてゆきます。

小児がん診療に携わる希望のある研修医や看護

師などが、今後の診療に役立つ生きた研修ができるような診療科が目標です。そのためにもひとつひとつのケースを大事にし、スタッフと情報などを共有しつつ、またフィードバックを欠かすことなく診療に関わる全員がともに前進できるような体制が理想です。

患者さんについてのご連絡やご相談に対しては24時間対応できるような体制をとっております。

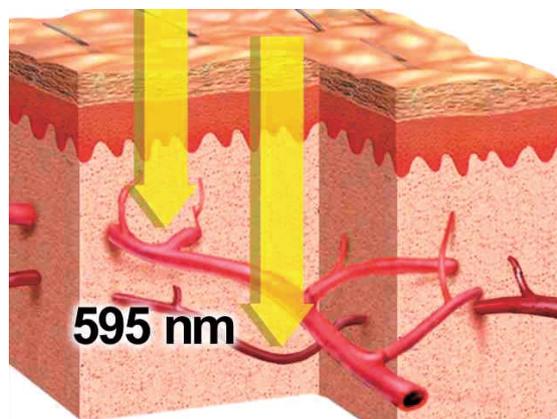
どうぞよろしくお願いいたします。

Vbeam紹介

形成外科

このたび形成外科では長野県内公的病院では初となる、赤あざ治療用の新型レーザー「Vbeam（ブイビーム、キャンデラ社製）」を2011年7月より導入いたしました。従来の赤あざ用レーザーは1発ごとのレーザー照射時間（パルス幅といいます）が短かったため、細い血管にしか効果がありませんで

した。Vbeamではパルス幅を調節できるようになり、細い血管から太い血管まで治療することが可能になっており、従来型では効果が頭打ちしてしまった赤あざでも治療できるようになりました。また皮膚表面を冷却しながらレーザー照射するので、痛みが少ないだけでなく、皮膚へのダメージを抑えなが



皮膚断面図



ハンドピース

ら深部の血管のみを治療することができます。健康保険で認められている治療対象は①単純性血管腫、②いちご状血管腫、③毛細血管拡張症の3つのみです。

なお血管腫に関する新患は通常の新患枠でお取り扱いいただけます。

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成 23 年 7 月 1 日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟 外来	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) ^{※2}	藤岡 文夫 加藤 博之 ^{※1}	松原 光宏 (AM)	藤岡 文夫 (AM) 松原 光宏 (PM)
	小児外科		岩出 珠幾 (AM) ^{※3} 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	町田 水穂 (AM) 好沢 克 (PM)	町田 水穂 (AM) 岩出 珠幾 (PM)
	眼 科	非常勤 ^{※4}	視能訓練	視能訓練	北原 博 (第 1 週)	北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成	樋口 司	倉田 敬	南 希成 (AM) 樋口 司 (PM)	樋口 司 (AM) 竹内 浩一 (AM)
	総合小児科 免疫・アレルギー外来	南雲 治夫			南雲 治夫	
	総合小児科 血液・腫瘍外来	塩原 正明	原 洋祐	塩原 正明		塩原 正明 (AM) 倉田 敬 (AM)
	総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	
	循環器小児科	小坂 由道 (AM) 坂本 貴彦 (AM)	安河内 聰 瀧間 浄宏	坂本 貴彦 (AM) 原田 順和	安河内 聰 田澤 星一	瀧間 浄宏 田澤 星一 (AM)
リハビリ テーション科					笛木 昇 (AM)	
北棟 外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐 (PM)	重田 裕明		重田 裕明 宮入 洋祐 (PM)	
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来		下記 ^{※5}			
	神経小児科	平林 伸一 ^{※6} 平野 悟 (PM)	奥野 慈雨 (AM) 平林 伸一 ^{※6} 平野 悟	奥野 慈雨 (AM) 平林 伸一 平野 悟 (AM)	平野 悟 (AM)	平林 伸一 平野 悟
	小児外科					高見澤 滋 ^{※7}
	新生児科	中村 友彦 (AM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 池上みのり 安永 能周 (AM) 藤田 研也 (PM)		野口 昌彦 池上みのり 杠 俊介 (PM) ^{※8}	野口 昌彦 (PM)	安永 能周 (PM) 野口 昌彦 (PM) 池上みのり (PM)
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				
	皮膚科			芦田 敦子 (AM)		
	精神科 こころの診療科				原田 謙 (PM) ^{※9}	
	遺伝科	古庄 知己 (PM)			鳴海 洋子 (AM)	川目 裕 ^{※10}
	耳鼻咽喉科		出浦美智枝			
	循環器小児科 胎児心臓外来		松井 彦郎 (PM)		瀧間 浄宏 (PM)	安河内 聰 (AM)
	産 科	高木紀美代 小松 篤史 (PM)	高木紀美代 小松 篤史	高木紀美代 小松 篤史	小松 篤史 高木紀美代 (PM)	高木紀美代 小松 篤史
	リハビリ テーション科	笛木 昇 原田由紀子	笛木 昇	笛木 昇	笛木 昇 (AM) 原田由紀子 (AM)	河野 千夏 (AM)

- ※ 1 整形外科の加藤医師は隔月第3水曜日のみ診察となります。
- ※ 2 整形外科の高橋医師は第4週のみ診察となります。
- ※ 3 診察日は、第1、3、5週です。
- ※ 4 7/4、8/1・15の診察日となります。
- ※ 5 泌尿器科 午前 週によって、医師が異なります。
午後 皮膚・排泄ケア外来は、第1、5週で西澤医師の診察日となります。
- ※ 6 月・火曜日の午前中 平林医師は発達障害専門外来です。
- ※ 7 第2・4週は午前・午後、第1・3・5週は午後のみ診察となります。
- ※ 8 第3週のみ診察となります。
- ※ 9 精神科(こころの診療科) 外来の初診は、受付しておりません。
- ※ 10 7/15、8/5・23、9/20の診察日であり、午前11時からの診察となります。
★診察時間：午前9時～午後4時 休日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話
0263-73-5300

予約受付時間：
8時30分～17時15分 月曜日～金曜日
(土・日曜日、祝祭日、年末年始を除く)